海外派遣研修事業費助成事業のご案内

「海外の優れた指導法を学んで指導力向上を目指したい」

「国際感覚を高めて、海外で活躍できる生徒を育成したい」

そんな希望を応援する、教員の海外派遣研修に係る経費を助成します。

令和7年度から制度内容が変更になり、より使いやすくなりました！

	【変更前】	【変更後】
対　象	・中学校・高等学校教員(国語科、社会科、数学科、理科又は英語科) ・小学校教員(英語科又は外国語活動)	**小学校・中学校・高等学校の教員** **担当教科は問いません** ※派遣者要件の詳細はホームページをご確認ください。
研修先	英語を母国語又は 公用語とする国で実施	**国・地域は問いません** **（言語圏の限定を廃止）**
助成額	100 万円（交付限度額）	**150 万円（交付限度額）**
研修期間	原則として８週間程度 学校長が認める場合、４週間以上	**概ね２週間以上**

助成対象経費

- ■研修受講費用（授業料、教材費等）
- ■現地滞在費用（ホームステイ費用、寮費等）
- ■現地生活費用(食費、交通費等)
- ■渡航費用（航空運賃、査証申請費用等）
- ■海外傷害・医療保険費等

助成金交付スケジュール	第１回	第２回
交付申請期間	６月２日(月) ～６月 30 日(月)	10 月 16 日(木) ～11 月 17 日(月)
交付決定	７月中旬	12 月中旬
実績報告期限	10 月 15 日(水)	２月 20 日(金)
助成金交付	11 月下旬	３月下旬

◆大学等の高等教育機関又はそれに相当する
語学学校等で行われる様々な研修プログラムでのご利用が可能です。

CELTA Face-to-face course 4 Week、General English Skills Programme 20
海外教育交換ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ（英語研修付きコース）、学校独自のプログラム等

（経費参考）

派遣国	期間	助成対象経費	備考
マルタ共和国	29 日	1,054,000 円	学生寮・朝食付き
イギリス	32 日	1,034,000 円	ホームステイ・1 泊 3 食付
ｲｷﾞﾘｽ・ﾌｨﾝﾗﾝﾄﾞ	５か月	1,300,000 円	語学研修費用・ホームステイ
イギリス	30 日	1,970,000 円	ホームステイ 1 週間・ホテル宿泊

公益財団法人
東京都私学財団
METROPOLITAN FOUNDATION for PRIVATE SCHOOLS

■■お問合せ先■■
総務部研修課　電話　03-5206-7922
E-mail　ps-training@shigaku-tokyo.or.jp
URL　https://www.shigaku-tokyo.or.jp

⇦詳細はこちらをご覧ください

海外派遣研修事業費助成事業への申請にあたって

Q&A

項目	質問	回答
申請時期	申請前に終了した研修は対象となりますか。	申請年度内に助成対象経費の支払を行う研修であれば、申請時に研修が終了していても助成対象となります。
対象教科	家庭科や音楽だけを教えている専科の教員は対象になりますか。	対象となります。
期間	海外派遣研修の期間について、上限や下限はありますか。	概ね２週間以上としており、上限はありません。
	勤務の都合で夏休みと冬休みに分けて研修を受けたいが、対象となりますか。	合算して必要な期間が確保されれば、研修を分けても対象となります。経費は合計150万円の交付限度額まで助成対象となります。
研修内容・講座・プログラム	語学学校で行われる研修は対象となりますか。	担当教科の指導力向上に資する研修を受講するために必要な語学力を養うものであれば、対象となります。
	担当教科の指導力向上とは、どのような研修が対象となりますか。	担当教科の教科能力向上を目的とした研修や、海外の教授法や指導法等を学べる研修の他、現地の小学校、中学校及び高等学校等において、教員とのワークショップ・意見交換の実施、授業体験による児童・生徒との交流等も含まれます。

審査の留意点

審査は、研修計画等の「派遣者の志望動機等」及び「学校長の推薦理由等」の記載内容並びに添付書類の研修講座やプログラム等の内容を中心に行います。

（様式第１号別紙一部抜粋）

（２）派遣者の志望動機等

（志望動機、研修意欲、研修成果の今後の活用方法等）

派遣者：志望動機などのほか、海外派遣研修を担当教科の指導力向上にどのように活用していくか記入してください。

（３）学校長の推薦理由等

（推薦理由、派遣者に今後期待する働き等）

学校長：以下のいずれかが認められる内容をご記入ください。

■当該研修が、担当教科の教科能力向上を目的とした研修であると共に、海外の教授法や指導法等を学べる研修であり、担当教科の指導に活用できる。

■当該研修先が高等教育機関に相当し、国際感覚の醸成及び担当教科の指導力向上に資する。

校長氏名　　印

推薦理由は、こちらの記載内容と、添付書類の研修講座やプログラムで確認します。

添付資料：
左記に記載された内容を学ぶことができるとわかる研修講座・プログラムの資料を提出してください（外国語表記の資料は和訳をつけてください）。